

## 鳥取県鳥取市佐治地域における体験商品の造成へのアドバイス

鳥取県推薦都市農村交流アドバイザー（分野：観光交流）

谷上 雄亮（たにがみ農園）

### 1. 取り組み概要

私は就農前から鳥取県鳥取市佐治町において、農業振興と地域活性化に取り組んできました。特に、高齢化が進む中山間地域で地域住民が主体となった活動のサポート、都市部との交流促進(教育旅行や観光商材の造成など)に力を入れてきました。

就農後は持続可能な農業の仕組みづくり(既存販売から個人販売への移行・スマート農業の導入、保存技術の導入など)や、梨農家を中心とした農業者団体の運営支援(地域農業団体の活性化や新規就農者の支援など)、空き家を活用した一棟貸し宿「余戸宿」の造成運営、地域の歴史文化を生かした体験型観光など、複合的なアプローチで地域の魅力再生に取り組んでいます。

空き家を改装した一棟貸し宿「余戸宿」



### 2. 具体的なアドバイス内容

中山間地域における地域資源（農業・観光・人材）を活かした以下の4つの地域づくりに対し、総合的にアドバイスを行いました。

- ①住民主体の地域組織運営に対する支援（ビジョンづくり、会議運営、担い手育成など）
- ②農業の6次産業化(果物を中心とした加工品造成)、販路開拓、ブランド構築の実践的なノウハウ
- ③リバートレッキングなどの交流・体験プログラムの構築による都市と農村の関係人口づくり
- ④行政と住民の連携を深めるコミュニケーションの工夫やコーディネート



山王滝のリバートレッキング

間伐体験

サップ体験

### 3. 地域の変化や取り組みの効果と、地域が変化するために必要なこと

地域の若手農業者や女性を中心となって活動する機会が増え、「自分たちの地域をどうしたいか」という対話が生まれました。また、外部からの移住者や関係人口の増加により、地域に新しい視点や活気が入りつつあります。

地域が変わるためには、「小さな成功体験を重ねること」と「その過程を地域全体で共有すること」が重要です。また、外部アドバイザーは“正解”を押しつけるのではなく、地域の人々の想いや力を引き出す“触媒”であるべきだと考えています。

### 4. アドバイザー自身の PR

私は、都市部での民間企業経験を経て、Uターンし地域活動に取り組んできました。行政・農業者・住民の間に立ち、現場目線で課題を共有しながら、実行可能なプランを共に作っていくスタイルを大切にしています。

一方で、組織マネジメントや広報、デジタルツールの活用にも知見があり、「地域の現実と外の視点」を両立させたアドバイスが可能です。現場とともに汗をかき、持続可能な地域のかたちを共につくる伴走者として、貢献できればと思っています。

所属(R7 年度時点)

たにがみ農園、五しの里さじ地域協議会、鳥取市消防団、鳥取県連合青年団、鳥取青年会議所、鳥取南商工会青年部、観光コンベンション協会、NPO 桜キッズフィールド、鳥取県ブラジル会 など